

施策マネジメントシート1(平成 31 年度目標達成度評価)

更新日 令和 2 年 6 月 25 日

事業番号 0030000025

総合計画体系	政策No.	03	政策名	産業の発展と交流でにぎわうまちづくり	施策主管課	スポーツ課
	施策No.	07	施策名	スポーツの振興		
関係課		観光交流課,文化・交流課,スポーツ課				

1 基本計画期間(平成 30 年度～ 令和 3 年度)における「施策の方針」 重点施策

- ・健康づくりやコミュニティの充実のため、気軽にスポーツに参加できる市民スポーツの推進に取り組む。
- ・トップアスリートなどの姿を見る機会の創出や、トップアスリートを目指すスポーツの推進に取り組む。
- ・モンゴル国を始めとした国際的スポーツ交流に取り組む。
- ・プロスポーツの招致に取り組み、スポーツ交流を拡大し、交流人口の増加に繋げる。
- ・市民スポーツの拠点や競技スポーツの拠点づくりに取り組み、スポーツ施設を機能分担して市民に提供する。

2 施策の目的(①対象③意図)と指標(②対象指標④成果指標)等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民							
②対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	人口	人	見込み値 実績値	137,935.0 137,193.0	137,193.0 136,807.0	136,807.0 0.0	136,807.0	136,807.0	0.0
B			見込み値 実績値						
③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		スポーツを楽しんでいる							
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
A	人口に対するスポーツ施設の 利用者比率	%	目標値 実績値 達成率	422.7 394.5 93.3%	426.2 370.4 86.9%	429.6 0.0 0.0%	433.0	0.0	0.0
B	東海大会以上の大会と強化合 宿の合計開催回数	回	目標値 実績値 達成率	15.0 13.0 86.7%	16.0 14.0 87.5%	17.0 0.0 0.0%	18.0	0.0	0.0
C			目標値 実績値 達成率						
D			目標値 実績値 達成率						
E			目標値 実績値 達成率						
F			目標値 実績値 達成率						

⑤成果指標の測定方法 (実際に成果指標の実績値をどのように把握するのか)

- A 市内のスポーツ施設利用者が提出する「使用日報」または、「使用申請書」に記入してある利用者数から年間累計利用者数を算出し人口で除す。
- B 市内体育施設の利用予定表から東海大会以上の大会及び強化合宿の開催回数を集計する。
- ⑥基本計画期間における施策の目標設定とその根拠
- A H26の利用者比率(利用者数/人口×100)406.22%(567107人/139606人×100)とH28の利用者比率415.90%(577127人/138767人×100)の差(9.68%)から求めた平均上昇比率3.22%に、H33年度までに1.00%(各年度0.20%)上昇させることを目標とした比率を加算した。
- B H28における東海大会以上の大会が7回、また強化合宿が6回の計13回が実施されており、前年度と比較すると1回増加していることから、毎年度、大会又は合宿を1回増やしていく。

⑦施策コスト (トータルコスト=事業費+人件費)		単位	30 年度 (実績)	31 年度 (実績)	2 年度 (計画)	3 年度 (計画)	4 年度 (計画)	5 年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	148	1,300	47,161	800	800
		一般財源	千円	34,069	48,227	59,454	58,975	11,571
事業費計(A)		千円	34,217	49,527	106,615	59,775	12,371	12,371
人件費	正規	職員従事人数	人区	4.5	3.4	0.0	0.0	0.0
		職員延業務時間数	時間	8,688.0	6,442.0	0.0	0.0	0.0
		職員人件費	千円	20,825	6,996	0	0	0
		人件費計(B)	千円	20,825	6,996	0	0	0
経費	その他	千円	0	0	0	0	0	
	経費計(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)+(C)	千円	55,042	56,523	106,615	59,775	12,371	
この施策の事務事業数		本数	26	26	26	26	26	

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

ア) 住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)

【市民】

・様々なスポーツ活動に意欲的に参加するとともに活動推進にも協力する。

【団体等】

・体育協会やスポーツ少年団は加盟団体や会員の増加、指導者の育成、競技力の向上に努めるとともに、体育協会は市と共に生涯スポーツを普及推進する。
 ・地域体育組織や総合型地域スポーツクラブは、自主的に各種教室やスポーツ大会などを実施する。

イ) 行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

・生涯スポーツのきっかけづくりとして、各種スポーツ事業を実施する。 ・スポーツ施設の整備・管理・運営を行う。
 ・体育協会やスポーツ少年団及び加盟団体の活動を支援する。
 ・スポーツ活動の普及・啓発活動を実施する。
 ・全国規模の大会や試合、強化合宿を受け入れる。
 ・プロスポーツを招致する
 ・トップアスリートから心技体を学ぶことができる場を創出する。
 ・モンゴル国とのスポーツ交流を実施する。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化したが、令和2年度を見越して、今後どのように変化するか?

・新型コロナウイルスにより、東京2020競技大会の1年延期、インターハイの中止、プロスポーツのリーグ開幕見送りなど、競技スポーツ全般が自粛を余儀なくされ、スポーツを通じた交流を推進していくことが困難な状況が長期化すると思われる。
 ・今後の感染発生状況により、再び自粛要請がかかる場合も想定され、競技力や体力の向上を目指していくことが危ぶまれる。

③ この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

・生涯スポーツのうち、特に子どもの時期における指導、育成が大事である。(教育委員)
 ・アスリートの育成するためには指導者の育成が重要となる。(教育委員)
 ・中学部活動に協力したい。(体育協会)
 ・スポーツ施設をもっと気軽に利用できるよう、予約システムを導入してほしい。(住民・議会)

4 施策の評価

① 施策の目標達成度(平成31年度の目標と実績との比較)

成果指標名	単位	平成31年度成果指標の達成度			結果
		目標値	実績値	達成率	
A 人口に対するスポーツ施設の利用者比率	%	426.2	370.4	86.9%	×
B 東海大会以上の大会と強化合宿の合計開催回数	回	16.0	14.0	87.5%	×
C					
D					
E					
F					

*平成31年度施策の成果指標の達成状況及び要因

A:未達成。上陸、接近する台風が大型化しており特に屋外施設の利用減少につながっている。また、新型コロナウイルスにより3月7日から31日まで屋内施設を休館したことも大きな要因として考えられるが、3月分の利用者数が前年度並みにあったとしても実績値が395.9となり、前年度実績を上回るものの目標を達成できなかった。
 B:未達成。A同様に3月に屋内施設を休館したことが要因であり、通常の状態であれば大会1回、強化合宿が1回それぞれ予定されていたため目標を達成できた。

※○:目標達成 △目標をほぼ達成(達成率95%以上) ×:目標を未達成 指標名に(ー)があるものは、目標値より実績値が低いものを達成とする

② 施策の振り返り(住民と行政の役割分担を踏まえて、施策の目標達成に向けて、基本計画で掲げた「施策の方針」及び「基本事業の取り組み方針」にどのように取り組んだか。)

・平成30年度に策定した焼津市スポーツ推進計画に沿って適切な機能分担による施設の貸し出し、及びスポーツイベントの開催を引き続きそれぞれ実施した。
 ・体育協会と連携してスポーツ教室やスポーツクラブ(サタデースポーツ)を開催し、子どもから高齢者までスポーツに親しむ機会を提供した。
 ・スポーツ推進委員、地域体育組織連絡協議会とともに、地域交流スポーツ祭を通して地域住民が主体的にスポーツ活動に参画する環境づくりを進めた。
 ・3×3プロリーグ及び全日本女子レスリング選手権大会の誘致、並びにモンゴル国ナショナルチーム強化合宿を受入れ、トップアスリートとの交流機会を提供するとともに、地元選手の競技力向上につなげた。
 ・本市をホストタウンとするモンゴル国との間で、高校生男子バスケットボールおよび女子ソフトテニスの交流事業を実施し、同国との交流機会を提供した。
 ・焼津体育館の再整備に向けて、事業規模、手法、スケジュールなどの基本的な考え方を示す「焼津体育館再整備プラン」を策定した。

③ 施策の課題(基本計画で掲げた施策の「現状と課題」、「②施策の振り返り」を踏まえて、令和2年度、3年度に向けた施策の課題はなにか)

・スポーツによる新型コロナウイルス感染症を防止するため、市が主催するスポーツイベントの開催及び施設の貸し出しについては、国が示すガイドラインを踏まえ、慎重に協議・調整していく必要がある。
 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が1年延期されたため、モンゴル国代表選手との交流事業を継続し応援機運を高めていく必要がある。
 ・スポーツを始めるきっかけづくりを拡大するため、ハイレベルなプロスポーツや全国大会を更に誘致していく必要がある。
 ・施設利用者が安全かつ安心してスポーツに取り組めるよう、スポーツ施設を適正に維持管理していく必要がある。
 ・新型コロナウイルス感染症防止の観点から、施設ごと利用にあたっての具体的な指針を示していく必要がある。